

# 第3回宇宙開発利用大賞について

平成29年10月12日

内閣府 宇宙開発戦略推進事務局

# 宇宙開発利用大賞の概要

- 宇宙開発利用の推進において大きな成果を収める、先導的な取り組みを行う等、宇宙開発利用の推進に多大な貢献をした優れた成功事例に関し、その功績をたたえることにより、我が国の宇宙開発利用の更なる進展や宇宙開発利用に対する国民の認識と理解の醸成に寄与することを目的とした表彰制度。
- 平成25年度に創設。平成25年度(第1回)及び平成27年度(第2回)に実施。

## 表彰対象

宇宙に関連し、商品・サービスを提供し、宇宙の利用拡大に成果を上げた個人または団体  
宇宙に関連し、今後の宇宙利用の拡大に成果が期待できる独創的な宇宙利用の方法の考案等を行った個人または団体  
中小企業、大学等で、宇宙に関連し、優れた技術を保有し、我が国宇宙産業の発展に貢献している個人または団体  
宇宙に関連し、優れた研究開発を行い、宇宙の開発利用に貢献している個人または団体  
宇宙に関連し、教育、広報や地域のまちづくり等において、宇宙の開発利用に貢献している個人または団体

## 表彰の種類

内閣総理大臣賞、内閣府特命担当大臣(宇宙政策)賞、総務大臣賞、外務大臣賞、文部科学大臣賞、農林水産大臣賞、経済産業大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞、防衛大臣賞、宇宙航空研究開発機構理事長賞

# 第2回宇宙開発利用大賞の受賞事例

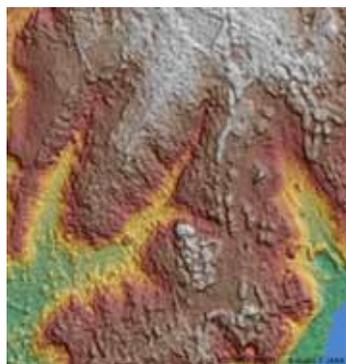
## 内閣総理大臣賞

### 全世界デジタル3D地図提供サービス

- 受賞者：NTTデータ 他
- 受賞理由：衛星データを用いて詳細な三次元世界地図を作成する技術を開発（従来の1/4の時間とコストで実現）



従来の地図(90m解像度)



開発した3D地図(5m解像度)

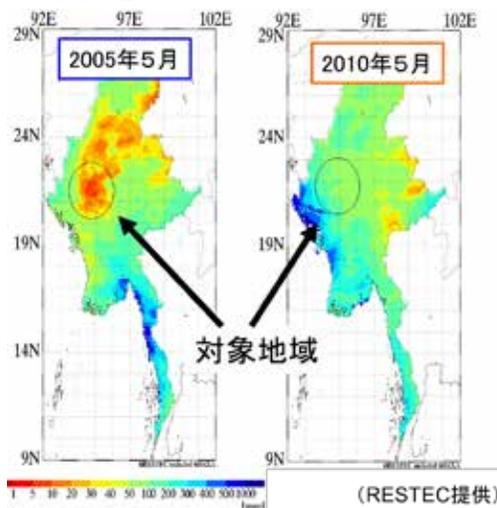


3D鳥瞰地図(エベレスト山)

## 内閣府特命担当大臣(宇宙政策)賞

### 地球観測衛星データを活用した天候インデックス保険の開発

- 受賞者：損害保険ジャパン日本興亜株式会社 他
- 受賞理由：気候観測インフラのないミャンマーで衛星データを用いて雨量を推定し、農業者向けの保険を開発



GSMaPデータを元に作成した、ミャンマー全土の累積雨量マップ

対象地域	ミャンマーの中央乾燥地帯(マグウェ管区、ザガイン管区など)
保険対象者	対象地域の農家
対象作物	米、ゴマ
対象リスク	干ばつ(雨季の少雨リスク)
補償内容	GSMaPの雨量が事前に定めた値を下回った場合に、事前に定めた金額を保険金としてお支払いします。

## 第3回宇宙開発利用大賞

- 「宇宙産業ビジョン2030」を踏まえ、ベンチャー企業等の新規参入者からの応募を歓迎し、従来の発想にとらわれない、世界に先駆けた革新的なアイデアや新たな分野への取組みも積極的に評価(新たに審査基準に追加)。
- 第2回までの10種類の表彰に加え、新たに農林水産大臣賞を創設することで、農林水産分野における宇宙開発利用の表彰機会を拡大。

### スケジュール

募集期間	10/2～11/20	審査	11月～2月
受賞者決定	3月	表彰式	3/20(予定)

### 松山内閣府特命担当大臣閣議後記者会見要旨 平成29年9月29日

- 来週10月2日月曜日より、第3回宇宙開発利用大賞の募集を開始いたします。本表彰制度は宇宙開発利用の推進に多大な貢献をした優れた成功事例の功績を讃える、平成25年度に創設されて2年毎に実施をしております。
- 今回の宇宙開発利用大賞では今年の5月に取りまとめられた「宇宙産業ビジョン2030」を踏まえた上で、ベンチャー企業等の新規参入からの応募を歓迎します。従来の発想にとらわれない、世界に先駆けた革新的なアイデアや新たな分野への取組みも積極的に評価したいと思っております。応募は自薦、他薦を問いませんので、奮って応募していただければと思います。詳細は、来週から内閣府の宇宙政策のホームページで御案内いたしますのでよろしく願いいたします。

# (参考) 宇宙産業ビジョン2030、宇宙産業振興小委員会での議論

## 宇宙産業ビジョン2030(抜粋)

(宇宙開発利用大賞の抜本強化)

内閣府では、2013年度から我が国の宇宙開発利用における優れた成功事例を表彰する制度として、宇宙開発利用大賞を実施している。

今般、宇宙開発利用大賞を抜本強化する。具体的には、従来は宇宙の開発利用に成功した優秀事例の表彰に止まっていたが、その対象を拡大し、今後の成功を目指す有望なベンチャー企業等を対象に加えるなど、アイデア開拓を活性化させるとともに、優秀なアイデアについては事業化までつなげていく。

そのため、新たなサービス等の事業化に向けて、宇宙開発利用大賞の受賞者に対してフォローアップを行う。具体的には、S-NETでの関係事業者とのマッチング支援、技術開発等の分野で政府の支援策とのつなぎ、政策金融公庫、商工中金等の政府系金融による支援、ベンチャーキャピタルとのつなぎ、政府による試行的利用(調達)の検討、状況に応じた関係府省の相談等の支援策を踏まえた対応を行っていく。

## 宇宙産業振興小委員会での議論

- n 宇宙開発利用大賞は大変すばらしい取組。様々な省庁の審査員を引き受けているが、総理大臣賞が設定されている賞は極めて異例でインパクトがある。
- n 官側が、総理大臣賞や大臣賞は大したことはない、民に対して効かないと思っているケースが多いが、実は民側では、総理大臣賞や大臣賞に選ばれることはすごいことで、活発化して欲しい。
- n 前回の大賞の受賞者は基本的に実績のある大企業ばかり。可能であれば、ベンチャーとして起業した方々がもらえるような賞を特別に与えた方が、彼らのインセンティブにもなり、箔がつくという意味でもプラス。